

Information7

今月のインフォメーションは、
この時期に多い**子宮蓄膿症**についてです。

子宮蓄膿症とは!?

細菌感染によって子宮腔内に膿液が貯留して、
ソーセージのように子宮が腫大する疾患です。

原因

黄体期に発症することが知られています。
その為発症には、黄体ホルモン(プロゲステロン)が関与することが
明らかになっています。

犬



妊娠の有無に関わらず約2か月間という長い期間
黄体期が持続するため、
黄体期に分泌されるプロゲステロンの作用によって
発症しやすい状況が作り出されていると考えられています。

猫



交尾排卵動物であり交尾が行われないと排卵が起こらないため
黄体期もあまり起こりません。しかし、最近では自然排卵する
猫がいることも知られているため子宮蓄膿症の発症に注意は、

黄体期とは、発情期中の排卵後から発情休止期の終了までの期間となります。

発情前期：発情出血の開始時期から雌犬が雄犬への交尾を許す(許容する)までの期間です。

発情期：この時期の約三日間に排卵が起こります。

発情休止期：発情期の終了から黄体が退行するまでの期間です。

黄体期



症状

- ✓食欲低下 ✓発熱 ✓多飲多尿 ✓嘔吐 ✓腹部膨満
- ✓外陰部からの排膿(認められないときがあります)



治療法

- 外科的治療 (外科的な卵巣・子宮全摘出手術)
- 内科的治療 (黄体を退行させるホルモン剤 など)



予防するには…

避妊手術



子宮蓄膿症 は、**命に関わる怖い病気**です。

症状が一つでも当てはまる場合は、様子をみず早めにご相談下さい!